



カトリック 大磯教会 だより

9月号

2022 8/28 発行



サマー キャンプ 2022

鈴木 郁子

13年程前から続いている小田原・平塚・大磯教会恒例のサマー キャンプは、新型コロナウイルス感染拡大により、昨年一昨年と行う事が出来ませんでした。今夏も難しいと諦めていたところ、平塚教会の信徒の方の結婚式が大磯教会で行われるという情報がありました。新郎の方は毎年キャンプに参加し、思い出深い大磯教会で結婚式を挙げたいと思ったと伺いました。

子供たちにとっては「2022年の夏」というだけではなく、「〇〇年生の夏」は一生に一度だけ。成人しても心に残るサマー キャンプを中断させたくない。この思いから私達はコロナが少し落ち着いていた時期でもあったので、両教会に内容を縮小して行わないかと声をかけました。しかし第7波の到来で合同は中止になり、7月30日に大磯の子供たちで花火大会を行う事にしました。

当日は長谷部兄弟、赤井兄妹、元小学生の浅井れい花さんと悠太。保護者などを合わせて総勢15人が集まりました。夜の教会の庭に久しぶりに歓声が響きました。花火の前に聖堂で、今置かれている自分達の日々の生活に感謝し、世界の人達にも目が向けられるような人になれるようにと祈りました。静かな聖堂でのひと時を過ごすことができました。このような時期にあっても行動に移せたことに感謝します。

参加した子供たちに感想を書いてもらいました(次頁)。



長谷部優矢

教会はコロナでキャンプが日帰りになって、日帰りが花火大会になつたけど、キャンプができなくても、みんなと一緒に遊ぶことじたいができたから、すごく良かった。みんなもとつてもよい思い出だとおもう。

長谷部直希

教会の花火はスパークも何種類もあつたし、流星群みたいなものもあって、すごくきれいでした。そしてラッキーなことがありました。線香花火を4・5回落とさなかつたのがうれしかったです。

赤井乃奈

夏の始まりの時いつも日本に行きます。だけどコロナの始まりの時日本に行けませんでした。今は来れたけどあんまりやりたいことができませんでした。だけどみんなと花火ができるで楽しいです。ありがとうございました。

赤井玄

今年は日本に来ていろいろなことが変わっていると思いました。大磯町が小さく見えたり、小学生の時怖くて通りたくない道も今は笑いながら通れます。でもだんだん大磯で過ごすうちに、町が変わっているのではなく、自分の方だと気が付きました。これに気付いたのはチャプレンが説教をしていた時でした。小中学生だった頃は教会が退屈でした。座ったり立ったりエネルギーがたくさんあつた僕は耐えられませんでした。でも今年来て「あれ？教会は覚えているよりおもしろい」と思いました。昔嫌いだった説教が今探し求めている答えを教えてくれます。今年はいろいろ自分がわかりました。



8月度(第5回)委員会報告

1. 日時場所 2022年8月6日(土)、10:00～11:20 信徒館
2. 出席者(敬称略)：テハン神父、市原、岩城、浦山(進行)、藤林、本田、松澤(書記)、欠席：星、長谷部

3. 報告事項

(1) 典礼関係

- ① 7/30(土) 深堀さん結婚式
・結婚証明書類の作成：本田さん。列席者約40名、当方スタッフは阿部(公)、達崎、野口、オルガン 鈴木。
- ② 9/18(日) 病者の塗油
・時候の挨拶を兼ね該当信徒へハガキ作成、送付 浦山さん。
- ③ 12/4(日) 地区合同堅信式の準備状況
・小教区の堅信式講座一覧 本田さん作成。
・大磯教会としては武本渚樹君が該当。9月上旬には6地区として該当者の把握予定。
- ④ 11/27(日)からの新しいミサの式次第の対応。
 - a. 教区作成の約25PのA6小冊子を作成(9/末～10/上)申し込み締め切りは今月末
 - b. A4(裏表)1枚のダイジェスト版も用意したい。平塚教会作成のものを使用させていただきたいが、当方でオリジナルを作るか否かを含め、星さん他、典礼メンバーで相談し決定。

(2) 財務関係

① 中間監査

- ・半年を経過中では収入に関しては臨時献金、特別献金、祭儀献金などは少ないものの、他の収入で不足分をカバーしている。支出についてはコロナ禍で活動の制限が継続されており、引き続き予算内に収まっている状況である。

② 来年度計画について

- ・管理：大規模の修繕計画はない。通常の植栽管理の予定。芝刈り機については石川さんに1台メンテを含め移譲したい。あと1台は使用予定なければ廃棄を検討。資産台帳に計上されているので処分方法含め要確認。

③ 全部門の計画、予算案について

- ・8/27までにまとめ報告→9月の委員会で最終案作成。

(3) その他協議事項

① 納涼祭、バザーの検討

- ・納涼祭は8/27(土)夕方から実施したい。内容は8/14の月例会で話し合いたい。
- ・バザーについても 昨年と同様な規模で開催を希望。バザー委員を確定し進めてもらう。

② 7/31 第6地区運営会報告

- a. 12/4 地区合同堅信式の状況報告
- b. 9/19(月) 第6地区全体会(平塚教会)の内容の確認。進行は大磯教会

③ コロナ再拡大におけるコロナ対策

- ・平塚教会のガイドラインが紹介されたが、当教会としては現状の対策を継続する。

④ 2022年度の信徒名簿の作成 →8月中に印刷予定 本田

⑤ 福島野菜販売 →今後も販売を予定 岩城

⑥ 8/15(月)撮影 →学童保育の場所としてフジTVドラマ撮影を予定したが中止。

4. 次回委員会 9月3日(土)10:00～11:30 担当<進行:星、書記:浦山>

以上

8月度月例会報告

1. **日時・場所** 2022年8月14日(日)ミサ後～12:30 於:カトリック大磯教会聖堂
2. **出席者(敬称略)** 阿部夫妻、藤林、鈴木、市原、永富、城戸、浦山、星、高橋夫妻、渡辺、達崎、浅石、岩城、碇井夫妻、勝部夫妻、野口、佐藤や、長谷部、松澤、平塚教会 青木 計25名
2. **進行:渡辺 記録:長谷部**
3. **審議事項** なし
4. **報告事項(詳細は委員会報告を参照のこと)** 補足等
(5)その他について
 - ・納涼会について。8/27(土)夕方に開催したいが月例会で賛成の方はいるか?
→数人手が上がったので、その有志のみで開催を検討する。
 - ・バザーについて。昨年同様で開催してはどうかと委員会から提案があった。バザーは委員会主導で行うものではないので信徒の意向で決まる。
→昨年担当者からは今年は忙しくてリーダーは難しい。毎年でなく隔年でもいいのではないか。他に賛同者がいればやりたい。地区に働きかけてはどうか。などの意見あり。
→鈴木郁さんが中心になってバザーメンバーを集めることとなる。
 - ・教会学校キャンプについて。7/30午後から小田原・平塚・大磯教会の合同キャンプを予定していたが、コロナ拡大により小田原・平塚からの参加は中止。泊りなしで19:00から花火の会を実施。参加者は15人で懐かしいメンバーも来て楽しく過ごした。教会だより来月号に掲載予定。
 - ・教会と信徒館の間の松の根の出っ張りが危ないので砂利を敷いて段差をなくすように対策する。

5. **次回月例会** 9月11日(日) ミサ後、聖堂にて

以上

第6地区共同宣教司牧委員会の活動報告

事務局:藤林 朋美

1. [全体会] 5月29日(日)会場:茅ヶ崎教会

『第6地区委員をしていてどうですか?～何を思い、何を感じていますか?』 というテーマで分かち合いを行いました。地区の活動に対する認識や思いは様々でした。

寄せられた感想としては、他の小教区の方と交わることで視野が広がる、情報交換の場としても刺激になって良い、というプラスの意見。一方、活動自体が良く分からず、活動が小教区に伝わっていない、参加することに負担を感じるなど、これから共同宣教司牧の在り方や方向を考えていく上でのヒントとなりそうな感想もあり、良い分かち合いとなりました。

2. [運営会] 7月31日(日)会場:秦野教会

次回の全体会(9/19)の分かち合いのテーマは『宣教…信仰を伝えるとは』となりました。祈る力を育てる部門(典礼部会)、信仰を証しする力を育てる部門(宣教部会)、神の愛を証しする部門(福祉部会)それぞれ所属している部門に関係なく、分かち合います。そのはじめとして『信

仰を伝えること』を皆で考え、第6地区の共同宣教司牧について新たな道筋を見いだせたら、という思いでこのテーマが提案されました。

また、今年の12月4日に予定されている合同堅信式について、想定されるコロナの状況に合わせて、参加者や開催方法を検討し、準備を進めていくことを確認しました。

2022年9月及び10月第1週 主日のミサ 奉仕者予定

日	主日 司式	聖書 朗読箇所	聖歌				奉仕者				侍者	ミサ 準備	お花当番
			入祭	答唱	奉納	派遣	オルガン	先唱	朗誦 * 朗唱	奉納			
4日	宮内神父	I 知恵 9・13-18	典 100	典 52	典 390	典 144	松田 厚	岩城	達崎 伸 高橋 佳	鈴木 郁 浦山	星	岩崎	野口
		II フィレモン 9b-10、12-17											
	年間第23主日	福 ルカ 14・25-33										星	
11日	オボス神父	I 出エジプト 32・7-11、13-14	典 174	典 6①、	典 93	典 156	加納	松澤 俊	増澤 本田	松澤 ま 丸山	市原	浅石 奈	高橋
		II 一テモテ 1・12-17											
	年間第24主日	福 ルカ 15・1-32											藤林
18日	テハン神父	I アモス 8・4-7	典 129	典 51	典 108	典 123	鈴木 郁	浅石 奈	佐藤 や 岡野 実	清水 赤堀	阿部 佳	藤林	清水
		II 一テモテ 2・1-8											
	年間第25主日	福 ルカ 16・1-13											三井
25日	韓神父	I アモス 6・1a、4-7	典 42	典 19	典 99	典 411	碇井 玲	渡辺 晃	勝部 武 清野	金子 高橋 佳	松澤	野口	上村
		II 一テモテ 6・11-16											
	年間第26主日	福 ルカ 16・19-31											浦山
2日	テハン神父	I ハバクク 1・2-3、2・2-4	典 147	典 35	典 100	典 156	松田 厚	阿部 佳	三井 野口 * 長谷部	本田 清野 高橋 伸	阿部 公	星	浦山
		II 二テモテ 1・6-8、13-14											
	年間第27主日	福 ルカ 17・5-10											本田

※ 9/18 ミサの中で病者の塗油が行われます。

ミサ曲1

○2022年9月の掃除当番

第1週(～3日)	第2週(～10日)	第3週(～17日)	第4週(～24日)
平塚・秦野 A	平塚・秦野 B	東・高・大 A	東・高・大 B

注)年間予定表に誤りがありました。9/4からのお当番の日程はこちらをご覧下さい。

おしらせ

1. 「共同宣教司牧ニュース 35号」について

- ・共同宣教司牧サポートチーム神奈川の会報で年2回発行しています。作年度から各小教区への配布数が増えています。
- ・35号は、Sr. 小野が巻頭言を書いておられます。皆さん、どうぞお持ち帰り下さい。

2022年度中間監査報告書

財務報告（半期）

単位：千円

収入	2022年予算	6月末実績	執行率	2021年実績	備考
月定献金	2,600	1,411	54.3%	2,349	
ミサ献金	300	112	37.3%	243	
特別献金	150	29	19.3%	85	
大規模献金	550	235	42.7%	515	
臨時献金	200	1	0.5%	168	
祭儀献金	500	110	22.0%	915	
その他収入	1,307	2,873	168%	1,640	撮影謝礼、一粒会
収入合計	5,607	4,771	85.1%	7,403	
支出					
宗教活動	676	191	28.3%	384	
指定献金	452	352	77.9%	391	
維持管理費	1,430	945	66.1%	1,149	
教区分担金	1,398	329	23.5%	1,242	
その他事務運営費	838	371	44.3%	816	
支出合計	4,794	2,188	45.6%	3,982	

*2022年上半期の会計監査を致しました。出納帳、通帳、収支計算書（教区）等、適正に処理されていましたことをご報告いたします。

2022.7.28 会計監査 浅石奈津子

編集後記

花火大会の子供たちの感想文を読んで、皆それぞれに楽しかったんだなあ、良い思い出になつたんだなあと、こちらの方が嬉しくなってきました。

特に赤井玄君の感想文はなかなか秀逸です。大磯町と自分、教会ミサと自分。時間軸の中で気付いた関係性の変化。昔大きかった町は、今は小さくなつた。ミサは耐え難いものから今は興味深いものに変わつた。自分の周りの物事は変わらないんだけど、自分が変わつたので感じ方や捉え方が変わつた。

これは大変言い得て妙で、人間の生き方の神髄を表していると思いました。周りの人間や社会や、ひいては世界は、自分自身の心の投影なのでしょう。そして、周りは変えられないけれど、自分自身を変えることはできる。玄君はここ数年、心身ともに大きく成長し、時空を超えて大磯に舞い戻ってきてそう感じたように、私たちもまた、自分自身の内面を好ましいものに変えていきたいと思います。能動的に、自分の意志で。